

平成 26 年度 地球環境論 (T140) 第 1 回ガイダンス

担当教員：内山雄介（工学部市民工学科准教授）

➤ 目的

地球の歴史的起源，変遷と現状を学びその本質を理解する．具体的に大気，水域，地圏，生態などの地球環境諸要素を客観的，定量的に把握することにより，現在また将来の諸問題についてその原因，現状，対策について考える基礎知識を習得する．

➤ 関連する学習・教育目標

(A-1) 多面的思考, (B) 基礎学力, (C) 専門基礎学力 (D-3) 課題解決 (D-4) 自然環境・文化・歴史

➤ 講義計画（指定のない限り原則として教室は C2-201）

	開講日	時限	内容
1	4月11日	2	ガイダンス／地球の歴史と環境変化
2	4月18日	2	地球環境と生物
3	4月25日	2	気圏環境
	5月02日		休講
4	5月09日	2	水圏環境，地圏環境
5	5月09日	4	気候変動（5/2の補講）
6	5月16日	2	中間試験
7	5月23日	2	グループディスカッション
8	5月30日	2	グループディスカッション発表会
9	6月06日	2	地球温暖化
10	6月13日	2	地球環境と水資源
	6月20日		休講（市民工学概論と入れ替え）
11	6月27日	1	地球環境モニタリング（6/20の補講）
12	6月27日	2	地球環境シミュレーション
13	7月04日	2	資源・エネルギー・地球環境問題と社会基盤整備
14	7月11日	2	期末試験
15	7月18日	2	まとめ

（講義の進捗状況により内容を変更することがある）

➤ 成績評価方法

評価は中間試験の成績（30点満点）、グループディスカッション（30点満点）、および期末試験の成績（40点満点）を加えた合計が60点以上の履修生を合格とする。合格者のうち、90点以上を秀（S）、80点以上90点未満を優（A）、70点以上80点未満を良（B）、70点未満を可（C）とする。ただし、出席回数が70%以下（全15回なので5回以上の欠席に相当）や、授業マナーが悪いと判断される履修生については不合格（不可）とする。原則として再試験は行わない。

➤ 担当教員

- ✓ 工学部市民工学科准教授 内山雄介（専門は海岸工学，海洋物理学，水理学）
- ✓ オフィス：1W-308
- ✓ メール：uchiyama@harbor.kobe-u.ac.jp
- ✓ 講義資料等 Web サイト：<http://coast.dce.kobe-u.ac.jp/?Classes>
- ✓ 配布資料解凍パスワード：講義中に指示する。
- ✓ オフィスアワー：講義終了後，月曜日 15 時～18 時，あるいはアポイントのうえ随時。

➤ 教科書・参考書

教科書は使用しない。参考書は地球環境科学（樽谷修，朝倉書店）であるが，購入は必須ではない。基本的に全てのスライド・資料等は上記 Web サイトからの DL 配布とする。必要に応じてプリントを直接配布する。